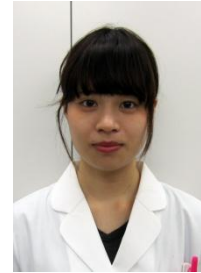


和歌山病院での実習を終えて



野村 麻衣

今回、呼吸器内科のポリクリの一環として2日間和歌山病院で実習させていただきました。駿田副院長から結核の感染様式や診断・治療についての講義があり、実際にN95マスクをつけて結核病床を見学しました。特に印象に残っているのは、駿田副院長が結核病床を見学した際につけていたN95マスクを手でこすって、これでも感染しない、とおっしゃっていたことです。結核は正しい知識を持っていれば自分が思っているよりもはるかに感染の危険の少ないものなのだと感じました。

南方院長によるレントゲンのセミナーでは、画像がどうやってみえるのか、どうやって考えていけば良いのか、という根本的なところを教えていただきました。画像診断は取っ付き難いイメージがあり、苦手意識を持っていたのですが、セミナーを受けて画像診断に対するハードルが少し低くなったように感じます。ポリクリも始まったばかりでこれからいろいろな科に行きますが、どこの科でもレントゲン写真はたくさんみると思うので、それに役立てていけるよう勉強していこうと思います。

他にも、臨床現場でよく見はするもののあまりわかっていなかった酸素マスクについて詳しく教えていただき実際につけたりしてみたりと、貴重な経験をさせていただきました。

2日間という短い期間でしたが、楽しく、密度の濃い2日間でした。ありがとうございました。